

肥後52万石の太守加藤 清正公の三男加藤 忠広公は寛永9年（1,632年）5月22日江戸参府途上品川宿で入府を止められ、池上本門寺にて上使稲葉 正勝より改易の沙汰があり、出羽庄内藩主酒井 忠勝にお預けとなった。

鶴岡市丸岡に1万石で改易になり、母の正応院の他女性16名、家臣20余名とその従士 計70余名で丸岡に下ったとあります。 その中の家臣のひとり杉村 文太夫は忠広公没後酒井 忠当公に仕えその末裔に国立がん研究 センター第7代総長杉村 隆博士がおります。

庄内酒井3代目藩主忠義公の時、菅原 道真公7男の末裔が庄内藩に任官し、その末裔が 幕末の激動機に藩主酒井 忠篤公を助け新政府との交渉に当たった中老菅 実秀さんであり、西郷 隆盛との交流の中より、国立富岡製紙工場に研修生を送り鶴岡絹織物の元を築き、明治22年の西郷 隆盛恩赦の後、上野公園の西郷 隆盛の銅像建立そして鹿児島に赴いた家臣による「南洲翁遺訓」の編纂などの功績により4ヶ所に「徳の交わり」の坐像など現在に繋がっております。

令和の今日は慶応先端生命科学研究所が世界に向けての研究学園都市を築くべく日夜奮闘しております。

鶴岡南高校も令和6年4月1日より山形県立致道館高校として再スタートを切ります。

大なる期待を以て見守りたいと思います。

2023年3月16日